

平成 29 年播種（平成 30 年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔2 月 10 日調査結果〕

1. 供試品種および耕種概要（中旬区・下旬区共通）

供試品種	早 生	中 生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小 麦		シラネコムギ
		ゆきちから

（中旬区）

- ・播種期：10 月 18 日
- ・播種量：0.9 kg/a（ドリル播き，条間 25 cm）
- ・施肥：尿素燐加安 777 号  
(N : 0.8 kg/a, P205 : 0.8 kg/a, K20 : 0.8 kg/a)

（下旬区）

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6 kg/a
- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠  
(ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔)
- ・ほ場条件：沖積埴土 転換初年目(前作水稻)
- ・播種期：10 月 27 日
- ・播種量：1.0 kg/a（ドリル播き，条間 25 cm）
- ・施肥：（中旬区と同じ）

2. 気象概況〔12 月～2 月〕（表 1，図 1）

- ・平均気温は，平年より低く経過した。
- ・降水量は，1 月上旬～中旬にまとまった量が降ったが，全般では平年よりやや少なかった。
- ・日照時間は，概ね平年並で推移した。
- ・降水量としてはやや少なかったが，低温のため，降雪量・積雪深は平年より大きく，ほ場では積雪が続いた。

表 1 気象経過（12 月～2 月） 古川 AMeDAS

	平均気温		積算降水量		積算日照時間	
	本年 (°C)	平年差 (°C)	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (hr)	平年比 (%)
12 月上旬	2.5	-1.7	1.0	6	42.8	108
12 月中旬	0.3	-2.0	10.0	79	25.0	74
12 月下旬	0.5	-1.2	6.0	40	39.1	92
1 月上旬	0.7	0.4	25.5	156	45.1	118
1 月中旬	-0.2	0.0	26.5	250	53.5	129
1 月下旬	-3.0	-2.6	14.5	97	30.3	62
2 月上旬	-1.4	-1.3	0.0	0	49.9	105
2 月中旬	-1.4	-1.9	18.0	104	54.7	108
2 月下旬	-0.6	-1.9	7.0	60	56.5	132

注1) 気象庁：古川 AMeDAS データから引用

注2) 平年差(比)は古川 AMeDAS 平年値データとの比較

3. 生育概況

1) 生育状況

- ・場内の作況ほどは，12/12 の積雪観測初日から 2 月末の 79 日の間，12/22～25，1/19～22 の延べ 8 日間を除き，積雪が連続したため，今作の 2 月期調査は欠測となった。

2) 幼穂分化状況（参考値，1/22 現在）

- ・中旬区の大麦(シュンライ)の幼穂長は 0.76mm，小麦(シラネコムギ)は 0.19mm で，いずれも幼穂形成始期に達していない。
- ・下旬区の大麦(シュンライ)の幼穂長は 0.40mm(中旬区比 53%)，小麦(シラネコムギ)は 0.15mm(同比 78%)であった。

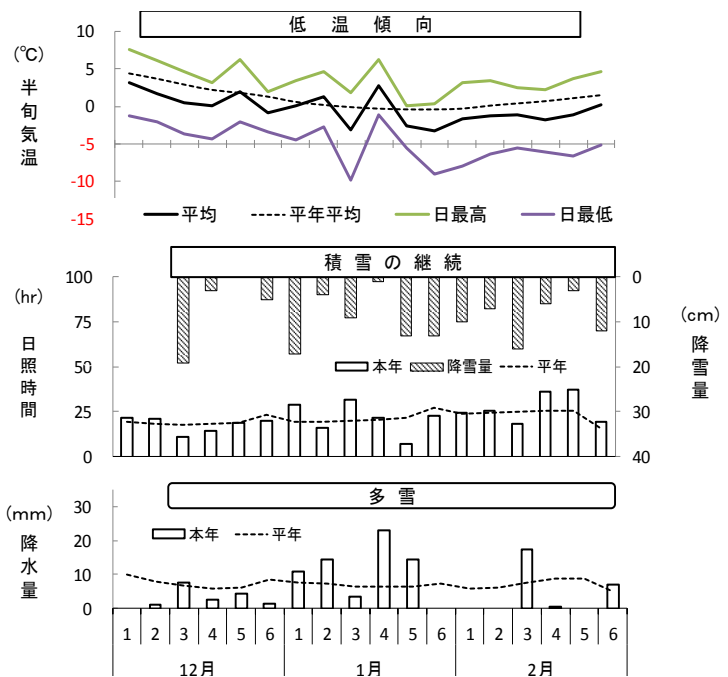


図 1 気象経過 古川 AMeDAS

平成 29 年播種(平成 30 年産)麦類生育調査ほ生育状況[2 月 10 日調査結果]

表 4 平成 29 年播種(平成 30 年産)麦類 生育調査ほ 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換	排水対策	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	条間 (cm)
			年数	(明渠、暗渠等)			
大河原	シュンライ	大河原町	19	暗渠	10月27日	1.0	30.0
	ミノリムギ	大河原町	3	暗渠	10月27日	1.0	30.0
仙台	シュンライ	大和町	1	明渠	11月13日	0.8	28.0
大崎	シラネコムギ	大崎市古川桜ノ目	4	弾丸暗渠	10月29日	1.0	14.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10	暗渠, 明渠	11月12日	1.4	23.4
	ゆきちから	涌谷町	1	暗渠, 明渠	11月13日	1.4	22.3
登米	あおばの恋	涌谷町琵琶首	18	弾丸暗渠	10月27日	1.0	24.6
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	10月28日	1.0	30.0
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	11月2日	1.0	30.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	11月13日	1.0	23.0

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表 5 麦類生育調査ほ 生育状況(2 月 10 日現在)

担当普及 センター	品種名	草丈			茎数			幼穂長 (mm)
		本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	7.8	69	95	158	26	40	0.1
大河原	ミノリムギ	8.7	79	111	253	58	75	0.2
仙台	シュンライ	7.5	—	66	180	114	48	0
大崎	シラネコムギ	8.9	71	82	182	20	24	0
美里	シラネコムギ	7.6	84	87	209	19	36	0
美里	ゆきちから	4.2	42	48	184	28	54	0
登米	あおばの恋	6.5	55	—	228	39	—	0.1
石巻	シュンライ	7.1	68	65	253	92	59	0.3
石巻	ミノリムギ	6.6	53	62	122	20	22	0.1
石巻	シラネコムギ	5.6	50	41	250	79	26	0

注1) 平年値は, 過去7か年中, 中庸5か年の平均値。

注2) 大和町「シュンライ」の平年値は, 草丈は過去3か年, 茎数は過去4か年の平均値。

注3) 大和町「シュンライ」の草丈は, 前年が鳥害により欠測となったため, 前年比がない。

注4) 登米市「あおばの恋」は, H28からほ場変更のため, 平年値がない。

注5) 幼穂長の「0」は, 観察の結果, 幼穂を確認できなかったことを示す。

<生育状況等に関する担当農業普及センターのコメント>

**大河原**

- ・「シュンライ」は草丈やや微増、茎数はやや減となった。
- ・「ミノリムギ」は茎数の増加はあったものの、草丈は前回より小さく、葉の伸長が抑制されている様子。
- ・幼穂長はいずれも 0.1~0.3mm で、昨年同期の 1.5mm に比してはステージ進捗に停滞、遅れが見られる。
- ・ただし、踏圧を計画しているので作業的には好都合とも言える。

**仙台**

- ・播種期が遅れ、その後も低温と積雪で、葉令は3葉程度。
- ・分けつにも至っておらず、茎数確保が不安。

**大崎**

- ・調査ほ場は数cmの降雪（根雪状態）であり、小麦の生育は遅れている。
- ・一部に12月下旬頃と思われる軽微な野鳥の食害があった。

**美里 シラネコムギ**

- ・積雪はほとんどなし。
- ・草丈は伸びていたが、一部鳥害と凍霜害を受けた影響で茎数増加は少なかった。
- ・幼穂は確認できなかった。

**美里 ゆきちから**

- ・積雪はほとんどなし。
- ・一部凍霜害を受けた影響で草丈、茎数の増加は少なかった。
- ・幼穂は確認できなかった。

**登米**

- ・調査区の葉の食害はないものの、白鳥が飛来した跡があった。
- ・平年（普及センター調査を含めた過去4年の平均値：草丈 10.5cm, 茎数 540本）に比べ生育が遅れている。

**石巻**

- ・播種の遅れに加え、12月が低温傾向で経過したことから、生育量は少なく、草丈・茎数ともに平年を下回った。幼穂長も平年よりも小さく、生育も遅れている。
- ・また、「ミノリムギ」の調査ほ場では、茎数が前回調査よりも少なかった。ほ場全体の生育が不良であり、砕土が荒かったことから、凍害によるものと考えられる。
- ・各調査ほ場で、現時点では鳥害は確認されなかった。